

## 地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分	実績	整理番号	14	課題区分	C	令和6年(2024年)3月29日
横断的な課題	1上田地域の魅力の向上と発信による人を惹きつける観光地域づくり					
地域重点政策	1上田地域の魅力の向上と発信による人を惹きつける観光地域づくり					上田地域振興局
実施機関	上田地域振興局			担当課	所属	商工観光課
事業名	上小地域観光地域づくり推進事業			電話	0268-25-7140	
				E-mail	uedachi-shokan@pref.nagano.lg.jp	
事業の概要等	目的 (目指す姿)	・地域の観光資源を活用した広域的な観光誘客の取組を官民一体となって推進するため、上小地域観光戦略会議を設置するとともに、重点課題の解決を図るため分科会を組織し、魅力ある観光地域づくりを推進する。				
	現状と課題	・新型コロナウイルス感染症が「5類感染症」に移行し、各地で賑わいを取り戻し始めている。 観光地延利用者数:令和4年度581万人(前年比+42.1%増) ※令和3年度409万人 観光消費額:令和4年度119億円(前年比+67.6%) ※令和3年度 71億円 ・観光需要の回復促進に向け、地域が一体となって観光振興に取り組んでいくことが必要となっている。				
概要等	内容 (変更後の内容)	上田地域の豊かな食を活かした観光地域づくりを推進するため、「上田地域食材活用分科会」を設置し、以下の取組を実施する。 (1)分科会の開催 市町村や観光協会、関連事業者と取組の方向性を共有するため分科会を開催する。 また、食を活かした観光地域づくりについて機運醸成を図るとともに、今後の取組の参考とするため、ガストロミーリズムに精通した講師を招聘し講演会を開催する。 開催予定日:令和5年12月19日(火) 会場:上田合同庁舎講堂 講師:(株)ぐるなび 社長室室長 家中みほ子氏 (2)生産者ツアーの開催 食を提供する側である飲食・宿泊事業者やシェフを食の生産現場にお連れする生産者ツアーを実施する。(参加者:20名程度) 生産者から直接生産ストーリーを学び、繋がる場づくりをすることで、地域食材への理解を深めていただくとともに地元食材の活用を促進する。ツアーの中で、地域食材を活用した調理例の提示も行い、実際の提供に活かしていただく。(実施時期:令和6年1月下旬)				
	事業期間	令和5年(2023年) 12月 ~ 令和6年(2024年) 2月				
事業費等	(単位:円)					
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考		
	分科会の実施	講演会の開催	54,920	講師報償費: @6,400円*3時間=19,200円 講師費用弁償: 15,620円 チラシ郵送料: 7,200円(観光協会等64か所) 複写機使用料: 12,900円		
	生産者ツアーの開催	生産者ツアーの開催	205,297	見学説明者報償費: 5,300円 消耗品購入費: 31,319円 郵送料: 4,704円 工場見学ガイド料: 15,000円 参加者保険料: 238円 調理手数料: 40,000円 バス借上料: 95,700円 複写機使用料: 13,036円		
	合計		260,217			
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況	
	生産者ツアーをきっかけに商談に繋がった件数		3件	12件	● 達成	
	講演会参加者数		25人	40人	○ 一部達成	
事業実績・成果	・令和5年12月20日に分科会を開催し、上小地域観光戦略会議構成団体に今後の取組内容について共有を図るとともに、(株)ぐるなび 社長室室長 家中みほ子氏を講師としてガストロミーリズムに関する講演会を開催し、一般参加者を含め40名の参加があった。 ・地域食材の活用を促進するため、令和6年1月30日に「ストーリーを学ぶ」生産者ツアー」を初開催し、飲食・宿泊事業者等16名が参加した。 食の生産現場を視察しながら、生産者から直接生産ストーリーを学び、地域食材への理解を深めるとともに生産者との繋がりを強化していただいた結果、目標値以上の商談件数となり、現状で5件の商談が成立していることから、地域食材の活用につなげることができた。					
	今後の方向性	今後も食を活かした観光地域づくりを推進するため、機運を醸成するとともに取組を継続していく。				